学校番号	２１５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　論理国語」　（第一学習社）						
副教材等	『新版　日本文学史必携』（第一学習社） 『錬成現代文　大学入学共通テスト対策新装版　３ステップオリジナル問題集　２＋』（尚文出版） 『近現代文学コレクション』（第一学習社） 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500』（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理国語では、現代文の学習をします。１・２年生で培った国語力、論理的な思考力・判断力をさらに深めることが目標です。授業では板書を写すだけでなく、メモを取りポイントをまとめて復習するときにわかりやすいノートづくりを工夫しましょう。授業内容が理解できたかどうかは、定期テストだけではなく、日頃の発言や発表、提出物、ノートの記述などを総合して判断します。

国語力は、反復と継続で身につくものです。たとえ一日に 10 ページでもよいので読書に親しみましょう。新聞を読むこともおすすめします。自然と知識が増え、読解力が身につきます。

問題集など授業で詳しく扱わない単元も定期テストに出題します。日常的に長文の読解のトレーニングをしていきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期中間まで	具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。 [教材]人間という中心と、それよりも〈軽い命〉	a:文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b[読]:具体と抽象の関係を整理しながら本文を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成を捉えようとしている。 c:自分の考えを深め、まとめようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
	ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 [教材]身体の個別性	a:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 b[読]:根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c:情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
一学期期末まで	擬古文を読み味わい、小説の多様な表現形式に触れる。 [教材]舞姫	a:ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]:伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように文章全体を整え、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。 c:効果的に言葉を用いながら、短編小説を創作しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
二学期中間まで	リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のありようについて考える。 [教材]リスク社会とは何か	a:根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 b[書]:リスク社会について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりしている。 c:学習課題に沿って「リスク」について整理し、積極的に説明しようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度

	筆者の論展開を支える文章表現上の工夫を理解して主張を捉え、身の回りの制度について考える。 ［教材］目に見える制度と見えない制度	a：積極的に本文中の接続詞のはたらきについて考え、説明しようとしている。 b[書]：身の回りの制度について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりしている。 c：自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫している。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
二学期末まで	具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ［教材］「である」ことと「する」こと	a：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 b[読]：民主主義社会のあり方について述べた評論を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成や、要旨を捉えようとしている。 c：積極的に本文の表現上の特徴を捉えようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
三学期末まで	明治期の論説文における文語文体に触れ、時代背景をふまえながら筆者が主張する内容を理解する。 ［教材］漫罵	a：根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 b[読]：関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 c：積極的に明治期の文語文の漢文訓読体の特徴を理解しようとしている。	ノート・プリント 発問評価	ノート・プリント 発問評価	ノート・プリント 発問評価 授業態度

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間